

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 上眼瞼下垂症手術(挙筋前転法)が血圧に与える影響に関する後ろ向き研究

研究の目的

近年、上眼瞼下垂症、特に腱膜性上眼瞼下垂症の治療機会が増加しています。上眼瞼下垂症は生活の質の低下のみならず、様々な合併症が報告されています。その1つとして上眼瞼下垂症が高血圧症と関連していると考えられています。しかし高血圧症により上眼瞼下垂症が出現するのか、あるいは、上眼瞼下垂症により高血圧症が出現しているのかは分かっていません。本研究の目的は、上眼瞼下垂症手術(挙筋前転法)の手術前後の血圧変動を明らかにすることです。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2025年12月31日

対象となる方： 2015年1月1日~2022年12月31日までの間、弘前大学医学部附属病院形成外科を受診し、上眼瞼下垂症(腱膜性)と診断され、入院で挙筋前転による手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、生年月日、手術時の年齢、外来および入院中の血圧、既往歴、内服薬、術前MRD-1を標記研究のために利用します。

統計解析的手法を用いて比較することで、上眼瞼下垂症の発生に寄与する因子を明らかにしたいと思っております。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 形成外科学講座 大学院生 村上朋子 〒036-8563 弘前市本町53 電話：0172-39-5119 mail: murakamitomoko@hirosaki-u.ac.jp
-------	--

